

# インフルエンサーによる英会話研修とコンテンツ制作の実装により 集客～受入れ体制強化を実現し、思い出に残るインバウンド体験の提供を目指す

採択事業者名 LanCul株式会社  
 コンソーシアム構成員 Wakka | 旅館さわき | みんなのワイナリー | おみやげナガノ | Cafe Sando

勉強会の実施概要	
勉強会の目的	本事業の進捗状況や成果を共有し、インバウンドや外国人そのものへの興味関心を高め、実務に役立てる他、他の事業者との繋がりを得る事で継続性及びコミュニティ形成をすることで地域でのインバウンド受け入れ態勢の強化を図る。
勉強会の当初のゴール想定と結果	当初は上記5事業者それぞれから参加いただく予定でしたが、開催日前時の山火事対応などにより当日2事業者の参加が難しくなり、3事業者での開催に至った。
参加者	上記コンソーシアム構成員に所属する従業員に加えインフルエンサー等 計20名
協議アジェンダ	事業概要にはじまり、コンテンツや外国人オーディエンスからの反応を分析しながらインサイトを共有。インフルエンサーや他の事業者との交流。
データに基づく協議ポイントの整理	コンテンツの再生数やエンゲージメント等のデータから、外国人のインサイトを抽出し、接客やコミュニケーション、PRにおいて活用できるポイントを協議・共有。
主なデータ項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>動画再生数、エンゲージメント (いいね、コメント、ブックマーク等)</li> <li>GoogleMaps (外国人口コミ数、外国人口コミ比率)</li> </ul>
協議におけるガイドライン (含む具体例)	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンテンツ訴求時は売り込みからではなく外国人の興味関心から訴求に入ること。(日本のお土産文化の紹介 → 具体的なお土産や地元企業の紹介)</li> <li>異文化理解力を養うために外国人目線でのコンテンツ生成 (日本ではごく当たり前のことでも、外国人にとって魅力になるものの紹介)</li> </ul>
「実装成果」実現に向けた示唆/考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生数などのデータからも「海外ウケ」の良さは確認できたが、事業者が継続するか判断をする上で、さらに売上貢献度を明確にする必要がある。</li> <li>1本1本のコンテンツや期間中の英会話だけでなく、持続可能な実装方法の調整が必要。</li> </ul>



共同制作されたコンテンツは総再生回数 **200万回突破!**

57万回再生 55,000 いいね	55万回再生 7,300 いいね	37万回再生 4,500 いいね	14万回再生 10,000 いいね

データ活用・協議の具体例		
	実装前	実装後
重要指標例	外国人観光客のインサイトをデータや数値から正しく把握し、訴求方法やコミュニケーション方法を見つけることで、日々の接客で活用でき、外国人観光客にとっての思い出に残るユーザーエクスペリエンスとして口コミ最大化。	
データ取得	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人観光客にどのようなニーズを持ち、どんなコンテンツを好むのか知る方法がない。</li> <li>自社のチャンネルではそもそも外国人観光客にリーチできない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>制作・投稿されたコンテンツの再生数、いいね!数、コメント数などから外国人観光客のニーズやインサイトを従業員が直接確認できる。</li> </ul>
データ利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>最低限の単語や要望をメモ帳に書き、個人個人で保管</li> <li>経験や聞いた話から外国人のニーズを判断</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コメントでの絶賛や交流等を経験することでさらなる取り組み意欲に繋がる。(仲間とのノウハウ共有)</li> <li>どのような紹介方法だと興味関心を持ってもらえるのか、動画の内容を日々の接客に活用。</li> </ul>
実行	<ul style="list-style-type: none"> <li>単語単語での端的かつ一方方向性の指示的コミュニケーションで、「対話」によるコミュニケーションではない。</li> <li>心理的には接客以前にその場しのぎ、逃れたい気持ちが先に来ってしまう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英会話やフレーズ集の活用により、親しみを感じてもらえる英語コミュニケーションを実現。</li> <li>さらに動画やフィードバックから得たインサイトに基づいて接客し、高い満足度から口コミ増に繋がる。</li> </ul>
協議	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域でそもそも外国人や他の事業者と話す機会も少なく、協議しづらい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>口コミからの再度外国人観光客のユーザーインサイトが得られ、次回の接客やコンテンツ制作に活用できる。</li> <li>コミュニティ内のほか事業者の投稿も確認できることからノウハウの共有や交流が生まれる。</li> </ul>

データ活用・協議による成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>普遍的な英会話のセッション内容からスタートしたが、コンテンツ制作の経験を加えながら徐々に実践的・時事的な内容に変更を実行。</li> </ul>